

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 1 回（準備会議）

平成 28 年 5 月 30 日 18:00～ 宮城教育大学 228 教室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一 安藤明伸 平真木夫
 東北工業大学 中川西剛
 仙台城南高校 佐々木啓充 千葉俊哉

議題

1. 総会まで各班の動き

- ・ 5 月下旬 校内城南 WG 会議①
 (顔合わせ、今年度の活動概要確認、研究内容の検討依頼)
- ・ 6 月中旬 校内城南 WG 会議②
 (研究内容の確認)
- ・ 6 月中旬 城南 WG チーフ会議
 (顔合わせ、本校の研究内容の確認)
- ・ 6 月下旬 みやぎの ICT 教育研究専門部会準備会議②
 (今年度の活動概要の検討、総会資料・進行の確認、各校研究内容の検討依頼)
- ・ 6 月下旬 役員会
 (総会資料・進行の確認、各校の研究内容の中間報告)
- ・ 7 月初旬 総会
 (テーマ・活動概要、各校より主な研究内容を提案)

2. 研究協議会の構想たたき台案

- (1) 日時 11 月 11 日 (金) 予定
- (2) 目的 宮城県の ICT 教育の充実を目指して、ICT を活用した研究授業、自らのこれまでの授業実践に基づいて議論を行う。
 → 本校の研究授業とその議論だけでなく、ICT 活用の実践報告を他校からも出してもらい、情報共有する場面を増やしてはどうか。
- (3) 時程 上記の内容に対して今回の検討を受けて、次回に提案する。

3. 城南 WG に関わる内容

(1) 今年度の城南 WG の体制

実践研究	実践者	補助	教科	研究開発内容
	虎岩容子	中里加奈子	国語	今後検討
	佐藤隆司	千葉俊哉	社会	今後検討
	菊地 亨	水戸良広	数学	今後検討
	中野智保	千葉俊哉	理科	今後検討
	佐藤 悠	鈴木理恵	英語	今後検討
	樋代直人	千葉康志	工業	今後検討
	戸田兼博	鈴木聡	工業	今後検討
学習評価	定百合子 (数学)	岡崎涼 (体育)	佐藤学 (数学)	
校務活用	水戸良広 (数学)	大友憲一 (工業)	中里加奈子 (国語)	

(2) 今年度の研究テーマについて

1) タブレット端末を活用した授業に係わる研究開発

テーマ「生徒同士の学び合いを活発化させる ICT 活用」

具体例) 授業の一部にペア学習・グループ学習・発表・教え合い・ディスカッションのいずれかを取り入れる

ICT の関わり) 学び合いの教材ツールとして

学び合いを活発化させるツールとして

学び合いの時間を作るために、それ以外の活動の時間短縮のツールとして

2) ICT を活用した探究活動・特別活動に係わる研究開発

テーマ「生徒の自発的な活動を促す ICT 活用」

具体例) 探究活動・課題研究での実験データ収集の活用

録画による活動の振り返りの充実

SNS を活用した集団でのコミュニケーション方法の充実

ICT の関わり) 探究活動・課題研究での情報収集・情報整理・発表などのツールとして

生徒の活動をより活発にするツールとして

3) ICT を活用した自主学習に係わる研究開発

テーマ「動画教材を活用した自主学習」

具体例) 受験サプリを活用し、自学を促す

問題演習動画教材（復習用）を作成する

反転授業用動画教材（予習用）を作成する

生徒に授業動画を作らせて共有する

ICT の関わり) 生徒の動画視聴用のツールとして

教員の動画作成用のツールとして

4) デジタル教科書を活用した学習に係わる研究開発

テーマ「デジタル教科書の有効な活用法」

具体例) デジタル教科書を授業で活用した場合の長所・短所を調べる

デジタル教科書の効果的な活用法を調べる

5) 学習効果の測定に係わる研究開発

テーマ「学び合いと学習意欲の関連を調査する」

「動画教材と学習意欲の関連を調査する」

「生徒の iPad の活用度の変化を調査する」

「生徒の情報リテラシーの変化を調査する」

具体例) 「iPad の活用度調査」「情報リテラシー調査」に関しては全生徒対象で経年変化を比較できるアンケート調査を行う

「学び合いと学習意欲の関連」「動画教材と学習意欲の関連」に関しては調査対象クラスを絞り、実践した単元の前後で比較できるアンケート調査を行う

6) 校務処理支援やシステム管理に係わる研究開発

テーマ「Classi の活用方法」

具体例) Classi の活用事例を集める

Classi の効果的な利用法を模索する

平成 28 年度みやぎの ICT 教育研究専門部会総会 記録

1 時程：平成 28 年 7 月 5 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 00 分

2 会場：宮城教育大学管理棟中会議室

3 出席者：第 6 章 第 1 節 資料 1 参照

4 開会

今野基（仙台城南高等学校教頭）の司会で開会行事を行った。

（1）久力誠専門部副部長挨拶（抄）

昨年度の研究協議会の成果としてタブレット端末が授業の中で当たり前存在する文房具となり、授業デザインに議論が発展したことを高く評価した。また、報告書に紹介されている公立校での様々な場面での活用事例を挙げながら、宮城県全体として ICT 教育が発展してきており、その中心にこの部会が存在している事を強調した。

（2）出席者紹介

司会より出席者が紹介された。

5 報告および協議

久力誠専門部副部長を議長として議事を行った。

（1）協議 1

1) 役員の改選（案）について

事務局の中川西剛氏から部会長に宮城教育大学の熊野充利副学長、副部長に東北工業大学の渡邊浩文副学長と宮城県教育庁高校教育課の岡邦広課長を新たに加える提案がなされ、了承された。また、新たに部会長に就任した熊野充利氏から挨拶があった。

熊野充利専門部部長挨拶（抄）

文部科学相が示している「教育の情報化」を踏まえ、日本の教育が大きく変わろうとしており、ICT 教育を抜きに発展することはできない現状から、この部会の活動の重要性を強調し、今後の事業により力を入れていくことを述べた。

これ以降の議事は熊野充利専門部部長が議長を交代し、行った。

（2）報告

1) 平成 27 年度事業報告

事務局の佐々木啓充氏が資料に基づいて平成 27 年度の事業を報告した。

平成 27 年 6 月 8 日に役員会を行い、平成 27 年 6 月 16 日には総会を、平成 27 年 11 月 5 日には仙台城南高校で研究協議会を開催した。また、公益社団法人「日本教育公務員弘済会宮城支部」の支援を元に、事務局が中心となって、平成 27 年度の研究活動を「みやぎの ICT 教育研究専門部会平成 27 年度研究報告書」にまとめた。

2) 平成 27 年度研究協議会アンケート結果

事務局の千葉俊哉氏が資料に基づいて、平成 27 年度みやぎの ICT 教育研究専門部会協議会アンケート結果について説明した。

内容としては、研究協議会の参加者を対象とし、研究授業、ワークショップ、実践報告会についてのアンケート設問に回答してもらったものを集計した。分析としては概ね肯定的な意見が多かったことが挙げられた。

(3) 協議 2

1) 会則等の改正について

事務局の中川西剛氏より資料に基づき、会則第 3 - 2 項の本専門部会を構成する学校を別表 1 と分けて記し、今年度新たに「宮城県多賀城高校」「宮城県蔵王高校」「石巻市立桜坂高校」が加わる旨の提案があった。審議の結果、提案通り可決された。

2) 平成 28 年度事業報告について

事務局の佐々木啓充氏より資料に基づき、昨年度と同様の事業内容が提案された。その中で参加校間での公開授業の参観を密に行うために千葉俊哉氏が中心となって各校の学校公開日程を集約し、情報共有する旨が了承された。

3) 平成 28 年度年間研究活動計画について

事務局の千葉俊哉氏から各校の計画を一覧できる資料について説明がなされた。その後、各校の担当者より、簡単に計画内容の概要について報告がなされた。

4) 平成 28 年度研究協議会の概要について

今年度の研究協議会の実施日時を 11 月 11 日とし、実施場所を仙台城南高校で行う事を提案し、了承された。また、新たな取り組みとして、仙台城南高校以外の参加校の先生の研究授業を仙台城南高校の生徒を対象に行う事で、良い授業実践を共有できる場を作るという提案がなされ、今後検討して行くことが了承された。

5) 「高校生 ICT conference in 宮城」に係わる共催名義使用許可について

仙台城南高校 ICT 教育推進室室長の中里加奈子氏から 8 月 22 日に東北工業大学一番町ロビーで開催される「高校生 ICT conference in 宮城」の概要が説明され、開催にあたって共催に「みやぎの ICT 教育研究専門部会」の名義を加える事を許可してほしいという依頼があり、了承された。

6) その他

特になし

(4) その他

宮城県総合教育センター次長の小川典昭氏より、平成 28 年度文部科学大臣賞を受賞した授業でのタブレット活用動画集「+タブレ」の紹介がなされた。

以上

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 2 回

平成 28 年 8 月 19 日 18:00～ 宮城教育大学 228 教室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一 安藤明伸 平真木夫

宮城県教育庁 太田克佳

東北工業大学 中川西剛

仙台城南高校 佐々木啓充 千葉俊哉

陪席者

宮城教育大学教職大学院 草野有希 八月朔日誠司 工藤修由 鈴木貴大

議題

1. 11 月 11 日開催予定の研究協議会 教育フォーラムの講演者について

案 1 アクティブラーニングと ICT について、専門の方から講演をいただく。

候補者 白渦始 氏（国立教育政策研究所 総括研究官）

堀田龍也 氏（東北大学 教授）

稲垣忠 氏（東北学院大学 教授）

案 2 佐賀県の ICT の現状について、佐賀県教育委員会の方から講演をいただく。

→ **案 1** の方向で、話を進める。

講演者の第一候補として稲垣忠氏に声をかけてみる。

稲垣忠氏から宮城県のアクティブラーニングと ICT 教育の実践を行っている教員も紹介していただき、稲垣氏と高校教員のそれぞれの視点から話をさせていただくことも検討する。

2. 11 月 11 日開催予定の研究協議会 研究授業について

・仙台城南高校の教員以外の先生にも研究授業をお願いすることが可能か。

→多賀城高校の東館拓也先生【理科（生物）】と宮城教育大学教職大学院の草野有希先生【体育】
にお願いする。なお、対象生徒は仙台城南高等学校の生徒とする事も含めて確認する。

3. 次回の会議について

・9 月 13 日（火）18:00 より予定する。

・研究協議会のタイムスケジュールと研究授業を行う先生との打ち合わせを議題として進める。

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 3 回

平成 28 年 9 月 13 日 18:00～ 宮城教育大学 228 教室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一 安藤明伸 平真木夫
宮城県教育庁 太田克佳
東北工業大学 中川西剛
仙台城南高校 佐々木啓充 菊地亨 中野智保 樋代直人 虎岩容子 千葉俊哉

陪席者

宮城教育大学教職大学院 草野有希 八月朔日誠司 工藤修由 鈴木貴大

議題

1. 11 月 11 日開催予定の研究協議会開催要項について

- ・本校の通常授業を 40 分短縮×2 時限にすることで研究協議会の受付や研究授業の準備に余裕を持たせる。
- ・ICT 教育フォーラムでは、今年度の加盟校からの挨拶を入れることで、新規加盟校への意識付けをはかりたい。
- ・ICT 教育フォーラムでは、実践報告を 3 本×15 分で実施し、理系・文系・課題研究の観点で報告者を探す。
- ・ICT 教育フォーラムでは、司会からアクティブラーニングの概要説明が必要となる。

2. 11 月 11 日開催予定の研究協議会 研究授業について

- ・**国語 虎岩容子** NIE と ICT 教育研究専門部会研究協議会の療法の活用を考えて、探究 I のコミュニケーションゼミで授業を行いたい。
用意した新聞記事を読み、どの言葉が記事のキーワードになっているかを考える授業を計画している。生徒達にキーワードを考えさせ、そこを隠した問題をつくらせる。その問題を別の班に解かせることで主体的に考える力も身につけさせたい。
- ・**探究 中野智保** 本校に近い八木山動物園をフィールドにした探究活動を行う。生徒達に関心の持った動物の行動や生態を調べさせ、最終的に動物園内で調べた内容を発表するガイドをさせたい。現在は、動物園側との交渉が難航している。
→ 現場での交渉を行う前に動物園と本校が正式に協力をする協定を代表同士で結ぶべきではないか。
- ・**数学 菊地 亨** 本校に導入しているスタディサプリの動画教材と Classi の動画教材を併用していく中で、それぞれの特徴を比較し、2つの動画教材を活用した授業スタイルの構築をしていきたい。まだ、動画教材を使用し始めた段階でこれからどのような場面での活用が有効かを探りたい。
→ ただ授業中に見せ、教員も解説するだけでは、効果的な活用と言えない。反転授業の導入なども検討して欲しい。
- ・**工業 樋代直人** 情報デザインコースのデザイン演習にて実習で個別学習が出来る解説動画を作成し、それぞれの作業進度に合わせて対応できる授業を行いたい。また、デザインの素材にインターネット上のフリー素材を活用する事を通して著作権や情報リテラシーについても指導していきたい。

3. 次回の会議について

- ・10 月 4 日（火）18:00 より予定する。今回来られなかった研究授業の先生に来てもらう。

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 4 回

平成 28 年 10 月 12 日 18:00～ 宮城教育大学 228 教室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一 安藤明伸 平真木夫
宮城県教育庁 太田克佳
東北工業大学 中川西剛
仙台城南高校 佐々木啓充 佐藤隆 佐藤悠 戸田兼博 千葉俊哉

陪席者

宮城教育大学教職大学院 草野有希 八月朔日誠司 工藤修由 鈴木貴大 千葉聡一郎 藤本創

議題

1. 11 月 11 日の研究協議会 ICT 教育フォーラムについて

- ・司会が紹介するアクティブラーニングの概要には、文部科学省の出している定義や最新の報告事項から内容を選択し、引用する。
- ・時間の都合上、今年度の加盟校からの挨拶を省き、実践報告は理系・文系の 2 本に絞る。
- ・グループ討論は教科を中心にグループ編成を行う。

2. 11 月 11 日開催予定の研究協議会 研究授業について

- ・**地理 佐藤隆司** 世界の諸地域の生活と文化を教材に、クラスを 6 つの班に分け、それぞれの班に割り当てられた国の生活や文化に関連する調査項目を発表させる。また、各国の共通調査項目をグラフ・表にまとめることで各国の共通性や相違性を発見させたい。
ICT は発表資料作成や Web 調査・データの共有に活用する。
- ・**英語 佐藤 悠** 教科書に旅行のおすすめスポットを紹介することで英語の発表活動・コミュニケーションを促す単元があるので、生徒が実際にいく関西方面のおすすめスポットの紹介を英語でプレゼンテーションしてもらい、英語を実際に活用する場面をつくりたい。
→ 発表だけでなく、英語での質問事項も用意し、質疑応答によるコミュニケーションも検討してほしい。
- ・**工業 樋代直人** 本日（10 月 12 日）の 1 校時目に公開授業を実施し、生徒の動画の活用状況や事前課題の取り組み具合の確認を行った。思っていたよりも生徒の取り組みが良く、今後につながる内容だった。また生徒による進行状況のばらつきが大きく、全体の進行状況をみて、当日の研究授業の内容を調整していきたい。
→ ただ制作を進めていくだけでなく、生徒がどの段階の作業にいるのか確認できる行程表や発表時に活用出来るポートフォリオの利用を検討してほしい。
- ・**工業 戸田兼博** エクセルによるデータのグラフ化を教材にし、データ内容を読み取ってより効果的なグラフの種類を生徒に選択できるように指導したい。また、その個別学習に対応するエクセル操作の解説動画を用意し、生徒達が自分の力でデータをグラフ化出来るようにしたい。
→ 学習指導要領に含まれている単元なのかを確認してほしい。
- ・**体育 草野有希** 本校での打ち合わせを行い、現在ダンスの授業を指導している佐々木美智先生にもご協力をいただくことになった。具体的には TT の形で佐々木美智先生にも当日の研究授業を担当していただく。現在は指導案作成も含めて当日の授業内容を協力して検討している。

3. 次回の会議について

- ・11 月 1 日（火）18:00 より仙台城南高校に場所を変えて予定する。
- ・開催要項の細案や指導案の作成状況等の確認を行う。

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 5 回

平成 28 年 11 月 1 日 18:00～ 仙台城南高等学校 会議室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一 平真木夫
宮城県教育庁 太田克佳
東北工業大学 中川西剛
仙台城南高校 佐々木啓充 佐藤隆 菊地亨 佐藤悠 戸田兼博
樋代直人 虎岩容子 中野智保 千葉俊哉

陪席者

宮城教育大学教職大学院 草野有希 八月朔日誠司 工藤修由 鈴木貴大 千葉聡一郎 藤本創

議題

1. 11 月 11 日の研究協議会 最終確認について

- ・開催要項の細案について
→来賓や助言者の対応の動きをもっと考えておく。
→東舘拓也先生と ICT 教育フォーラム司会の宮城教育大学教職大学院生の来校時間を早めておき、事前確認ができるようにする。
- ・研究授業後の分析会の詳細案について
→分析会のねらいや進行内容、記録について確認した。
- ・ICT 教育フォーラムの全体司会原稿について
→グループ討論前の指示内容や基調講演後の振り返りについて担当や内容を確認した。
- ・ICT 教育フォーラムグループ討論の詳細案について
→進行担当と助言者の確認をした。
→グループ討論のねらいや進行内容、記録について確認した。
- ・来校者用アンケート内容について
→記入欄を大きくとるため、A4 片面を両面に変更した。
- ・その他
→印刷物や講演者の資料準備の対応を確認した。

2. 研究授業の指導案集について

- 研究授業者よりコメントをもらいながら、内容を確認した。
大きな変更はなく、当日の健闘を互いに確認した。

3. 次回の会議について

- ・今年度中に一度集まり、研究協議会の総括と報告書作成の打合せを持つことを確認した。

平成 28 年度 みやぎの ICT 教育研究専門部会 城南 WG 議事録 第 6 回
平成 29 年 2 月 10 日 17:00～ 東北工業大学一番町ロビー2 階 会議室にて

出席者

宮城教育大学 田幡憲一
東北工業大学 中川西剛
仙台城南高校 佐々木啓充 菊地亨 佐藤悠 戸田兼博 樋代直人
虎岩容子 中野智保 佐々木美智 水戸良広 千葉俊哉

陪席者

宮城教育大学教職大学院 草野有希 八月朔日誠司 工藤修由 鈴木貴大 藤本創

議題

1. 佐賀県教育庁視察報告について

- ・千葉俊哉先生から佐賀県の ICT 教育の取り組みについて報告があった。佐賀県が全県で取り組んでいる一人一台 PC の実践事例や全県展開に至るまでの経緯について紹介し、宮城県と比較すると取り組みの方向性は違うが、宮城県も一定の評価ができる状況だと述べた。また、佐賀県での取り組みの中で生徒の ICT 利活用発表会や教員の実践事例発表会を企画しており、生徒教員共に良い取り組みの共有や利活用への意識向上がなされていた点を見習うべきだと主張した。
- ・田幡憲一氏からは、佐賀県教育委員会の担当が準備期間での説明会・研修会を各学校を一つずつ回って丁寧に行っている点から、県全体で取り組もうとする意識の高さを強調した。

2. 11 月の研究協議会の研究授業の総括について

- ・宮城教育大学教職大学院生より、見学した研究授業について感想を紹介した。
- ・田幡憲一氏より、全体を通して ICT がツールとして普段の授業に浸透・定着し、授業デザインの観点で研究が進んでいることを高く評価しているとの感想があった。

3. 今年度の活動報告について

- ・千葉俊哉先生より、報告のまとめ方についてと現在の進捗状況について説明があった。昨年度との大きな変更点は、冊子としてまとめず、原稿データを仙台城南高校の Web サイト等に掲載する点であった。また、著作権の観点から写真や画像データの取扱いについての注意がなされた。
- ・原稿作成者から一言ずつ現在の進捗状況と課題を紹介してもらい、全体で共有した。

4. 次年度の活動について

- ・11 月に開催している研究協議会の日程が 3 年生の A0 入試・推薦入試・就職活動等の多忙な時期であるため、日程を別な時期にずらせないか。
→12 月にずらすことも検討する。